

# 日本氷上スポーツ学会第1回研究大会 開催要項

## 1. 趣旨

日本氷上スポーツ学会は、氷上スポーツの普及・発展に寄与することを目的に2018年に設立されました。

第1回となるこのたびの研究大会では、講演、一般報告、フォーラムなどを通して氷上スポーツ普及の現状と課題について共有を図り、わたしたちの学会に求められる貢献と活動のあり方を展望します。研究者に限らず、氷上スポーツのさらなる発展に関心のある学生や指導者、競技団体、行政、産業界など、種目・専門・立場の異なる多様な方々の参会を望んでおります。

## 2. 主催

日本氷上スポーツ学会

## 3. 日時

2019年6月29日(土) 13:00~17:30

## 4. 会場

筑波大学東京キャンパス文京校舎 134教室  
〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1  
丸の内線《茗荷谷駅》より徒歩約2分



## 5. 参加者

学会員、一般、学生など氷上スポーツに関心ある方

## 6. 参加費

- ①学会員：2,000円
- ②学生・大学院生：無料
- ③その他：3,000円

\*参加費は大会当日、領収証と引き換えに現金にてお預かりします)

## 7. 申し込み

- (1) 方法 学会ホームページ《研究大会参加申込フォーム》より <https://jasiss.jp/>
- (2) 期限 6月12日(水)

## 8. お問い合わせ

電子メールまたはFAXにて以下へお願いします

日本氷上スポーツ学会事務局 info@jasiss.jp FAX : (03) 6811-0850

## 9. プログラム

11:00～12:00 理事会

12:00～12:30 総会（学会員のみ）

時 間	内 容
11:00	受付開始
13:00	開会
13:05 ～13:45	会長講演 ー学生氷上スポーツの発展と当学会への期待ー 日本氷上スポーツ学会会長 小野島真（明治大学）
休憩	
14:00 ～15:50	<p><b>一般報告</b>（報告 12 分＋質疑応答 5 分＋演者交代 1 分）</p> <p>①国内フィギュアスケート選手の外傷・障害発生状況とその傾向について 阿部愛（船橋整形外科市川クリニック、日本スケート連盟フィギュア強化部*）、栃木悠里子（筑波大学、*）、佐藤謙次（佐藤整形外科、*）、室井良太（聖マリアンナ医科大学、*）、渡部賢二（埼玉医療福祉専門学校、*）、菊地正（v-conditioning studio、*）、竹内洋輔（法政大学、*）、鈴木智之（札幌円山整形外科病院、*）、土屋明弘（船橋整形外科病院、*）</p> <p>②大学スケート研究会 30 年の活動報告 針ヶ谷雅子（明治大学）、野口和行（慶應義塾大学）、小森伸一（東京学芸大学）、後藤光将（明治大学）</p> <p>③氷上スポーツ（スケート）学科設立について 水原元一（ANA グループ）</p> <p>④日本におけるスピードスケートの普及形態と課題 ー小学校とクラブの結びつきに着目してー 渡邊瑛季（宇都宮共和大学）</p> <p>⑤画像認識技術と機械学習を用いたフィギュアスケートジャンプの回転不足判定予測への試み 廣澤聖士（慶應義塾大学）</p> <p>⑥栄養サポート「食とアミノ酸のコンディショニング」について 片山美和（味の素株式会社）</p>
休憩	
16:00 ～17:25	<p><b>フォーラム</b> ー氷上スポーツの普及に関わる現状と課題ー</p> <p>高嶋遥（アイスホッケー女子元日本代表選手） 町田樹（早稲田大学大学院スポーツ科学研究科） 矢島友喜（長野県茅野市役所） ファシリテーター：坂井寿如（日本氷上スポーツ学会理事）</p>
17:30	閉会

18:00～20:30 懇親会（会場等詳細はお申し込みいただきました方に別途ご連絡いたします）